

コロナワクチンの接種受付動向

菅総理は、7月末に高齢者対象の新型コロナワクチン接種を終えるとしています。途中から、一般の方の接種がとにかく開始されるでしょう。ただし、現実の状況は、初日に申し込んだ人の第1回目の接種が7月28日あるいは、7月26日だという知らせをもらったという意見を複数聞いています。3週間ほど次の接種期間を要するはずですが、8月の予定は立てられとないとも聞いています。

総理大臣の公約(的)発言で、医療や行政の窓口の現場で働く人々が、大きな混乱を強いられています。



2枚とも吉田つとむが撮影

ご意見、ご要望、吉田つとむの活動を応援いただける方は、下記の連絡先にお知らせください。

支持政党なしTOKYO都民代表

吉田つとむ

〒194-0011
町田市成瀬が丘 1-14-12
サンホワイトE103-13

TEL 042-795-7361
FAX 042-795-2726
E-mail yoshidaben@gmail.com



E-mail

コーツ氏の発言は国権の侵害

コーツIOC副会長は、東京都が緊急事態宣言下でも、オリンピックを開催できると発言していますが、国民・都民の健康・生命にかかわるレベルの方針決定に、こうした人物の発言がまかり通る状況は、国家の尊厳が否定されることを意味するものです。菅総理や小池都知事が毅然として、その発言を封じるべきでしょうし、まずは断固たる抗議があつてしかるべきでしょう。



「オリンピックを中止しよう!」のプラカードを作成。2021年1月冒頭より掲示、現在まで街頭で啓発活動中!



町田駅：通行者の全員がマスク姿

吉田つとむ

良識ある保守主義、政党・業界・団体から完全に自立

前町田市議
3期連続トップ当選
第35代議長



HP



ブログ

吉田つとむ前町田市議は「オリンピックを中止しよう!」などの東京自治宣言を発表しています。

1年を過ぎても新型コロナの脅威は変異株の登場で終息を見せず、緊急事態宣言の延長ばかりが継続しています。

その中でも、オリンピックを強行開催するという論理をまかり通そうと言う都政、国政にブレーキをかけ、コロナワクチン接種優先に切り替える方針転換が必要です。

組織や団体に所属しない(支持政党なし)の声を体現することがなにより必要です。そのためには、コントロールをきかせるために自立性が高く、強圧を跳ね返す力を発揮できる政治家でなければなりません。

マルチメディアの
双方向情報発信を続ける



Twitter



Facebook



YouTube

850万回再生!
吉田つとむ発見動画チャンネル



IT企業訪問時に撮影
(政治山は選挙情報や政治課題を発信するサイト: 株式会社VOTEFORが運営する)

提唱 3つの東京自治宣言

1 東京オリンピック中止

2 若者育成が最優先

3 東京は西に発展する

* 3については支持政党なしTokyo6月中旬発行で記載予定です。

支持政党
なし
都民代表

吉田つとむは若者育成がライフワーク

インターン生は23年間で94名

安定した就活と新産業

氷河期世代（1970年頃から1980年頃までに生まれ）とコロナ世代は理不尽（あるいは不条理）な状況に遭遇し、希望の道を歩めなかった人が多数います。

その中で、就業に外れた人たちが定着できる職業につくことは、個人の努力に任せるのではなく、社会的・政治的に幅広い支援が必要な取り組みです。現在まで、氷河期世代の非就業者を対象に、国や東京都で支援事業が組まれましたが、現実には初歩的な業務、あるいは一般労務の分野です。長期的な人間成長が図れるプログラムを提供し、50歳代以降には社会を担う役割を果たしてもらう必要があります。

そのため、東京都は、ものづくりなどの新産業にその世代が参加する機会を何度も提供していく新規事業の設定が欠かせません。



目黒区議会宗田議長訪問（2020年）



ベンチャー企業社長面談（2017）

年金生活から納税者への転換

吉田つとむは、団塊世代と言われる年齢です。20歳代にオイルショックと言うものが発生し、燃料費が高騰し、物価が上がり、多数の企業が苦境に陥る状況を現場で体験しました。

自分でも、務めていた会社が「廃業」となり、「失業」しました。それ以前に、大手取引先の倒産にも遭遇し、「債権者会議」にも出席したことがあります。そうした、失業、再就職、転職などの社会体験を様々に経て、現在に至っています。その経験が若い世代に少しでも役立てば幸いです。

その世代の多くのひとは年金生活に入ろうとしています。が、広範囲な高齢世代の課題として、まだ一働きすることで、納税世代にカムバックして頑張ることが次の世代への安心と貢献と考えています。



研修：社長面談

第44期インターン生：松村エミリさん

株式会社ユーグレナ出雲充代表取締役社長
インタビュー

現在、多くの企業が取り組むSDGs（2030年までの開発目標）の多くの項目に該当する働きをしているユーグレナに、「現代の会社」「ザ・ベンチャー企業」といった印象を強く受けました。最前線で最先端を追及されている姿に尊敬と共に刺激を受けましたし、おこがましくはありますが、カッコいいなと憧れました。

そして、出雲社長は吉田議員の元インターン生（第1期生の一人）で、私の立場から見ると、インターンの先輩になるのですが、こんな素晴らしい事業を行われている偉大な先輩のようになれる自信はありませんが、背中を追いかけられたらいいなと思いました。出雲社長は、インターン生時代を振り返り、吉田議員から未来の世代を応援してくれる大人がいることに勇気もらったと語り、「大変な事や嫌なことを思うこともあるが、私たちのような存在を思いだしてほしい。」と熱いエールをくださいました。

出雲社長自身、吉田議員に頂いたようなインパクトを次の世代の子に感じてほしいと、海外から日本に勉強に来る学生にインターンをおこなっているそうです。フランス大使館からの依頼を通じ、多くの学生は大企業にいきがちの中、ベンチャー企業として唯一行っており、毎年20～30人くるとのことでした。COVID-19の影響により、2020年は半年間リモートで行ったとのことですが、受け入れるのが大変な反面、未来世代への投資も惜しまない姿に感銘を受けました。（2021年1月作成時：高校3年生：松村エミリ：現在大学1年生）

（吉田注：2021年5月末で町田市議会議員を辞職しました）

株式会社ユーグレナと出雲充さん

日本の実業家。ミドリムシの研究・生産を行うバイオベンチャー企業株式会社ユーグレナ創業者・代表取締役社長CEOです。2014年12月、ユーグレナは東京証券取引所第一部に上場。現在は、経団連審議会副議長にも就任しています。出雲充さんが吉田つとむのインターンシップ生だったのは、1998-99年当時です。

インターン体験記



出雲充社長にインタビュー



新型コロナの規制下で博物館見学



インターン体験記は、配布レポートの中にも掲載しています。